

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



# 時の巡礼

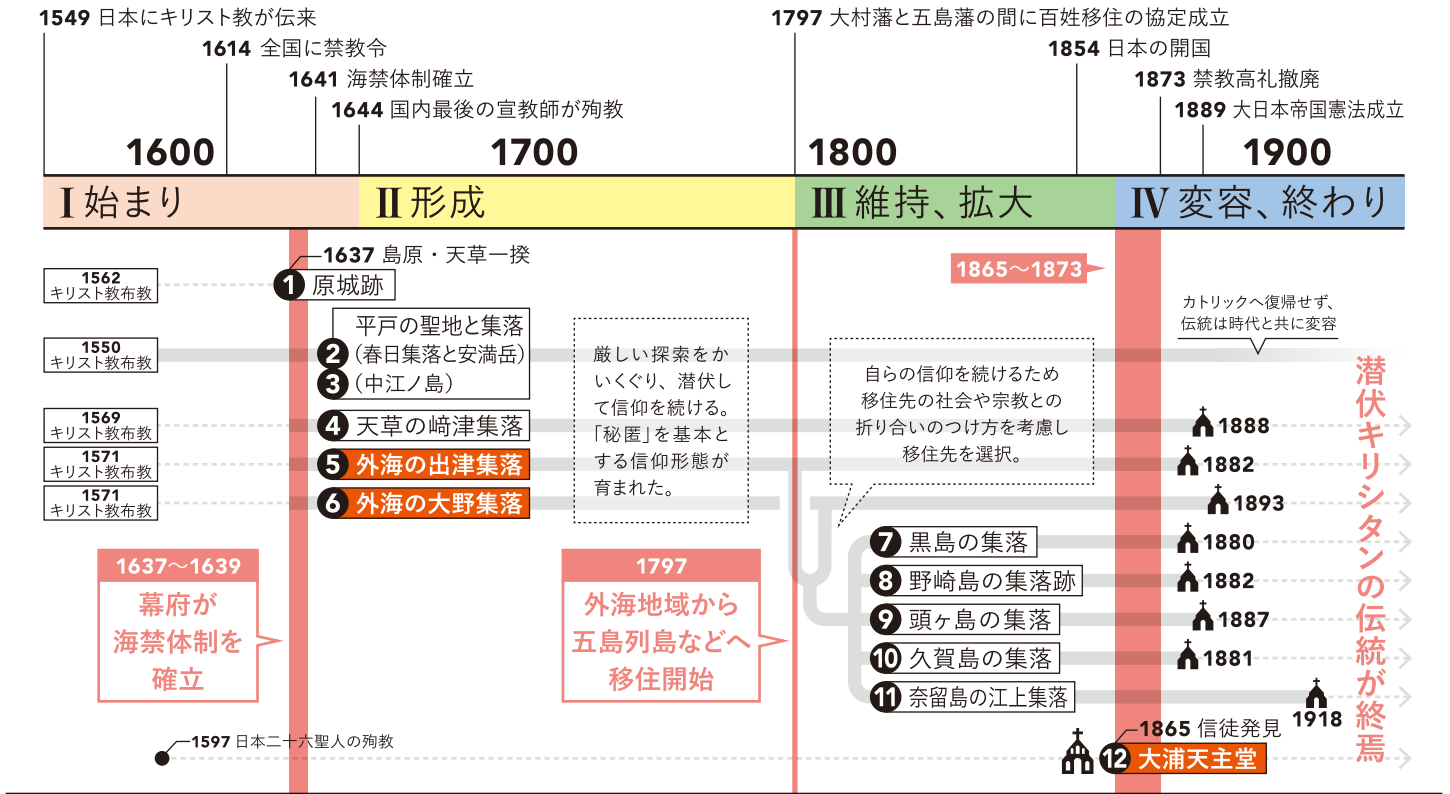
*Trip*  
トリップ



# キリスト教が禁じられる中はぐくまれた、日本独自の信仰のかたち

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とは、キリスト教が禁じられている中で、2世紀半にわたり信仰を続けた潜伏キリシタンの信仰継続にかかわる世界に類を見ない伝統の証しとなる遺産群です。

## 〈長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産〉12の構成資産の位置づけ



### 長崎市の構成資産



聖画像などを密かに崇拝

#### ⑤ 外海の出津集落

潜伏キリシタンが聖画像をひそかに拝み、教理書や教会暦をよりどころに信仰を続けた集落。解禁後、潜伏キリシタンは段階的にカトリックへと復帰し、集落を望む高台に出津教会堂を建設しました。



神社崇拝に重ねた祈りの場

#### ⑥ 外海の大野集落

潜伏キリシタンが、仏教や神道の信仰を装いながら、自らの信仰対象を神社にひそかにまつり、祈りの場とすることで信仰を続けた集落。解禁後は出津教会堂に通えない26戸の信徒のために、大野教会堂を建設しました。



信仰の局面を迎えた場所

#### ⑫ 大浦天主堂

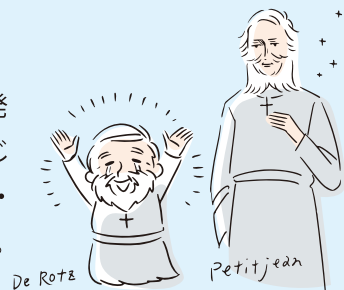
日本の開国により来日した宣教師が1864年に建てた教会堂であり、潜伏キリシタンが2世紀ぶりに宣教師と出会い、カトリックへ復帰する者があらわれるなど、新たな局面を迎えるきっかけとなった「信徒発見」の舞台です。

長崎市の構成資産

ここが見どころ!

### いま 現在へと繋がる歴史のアフターストーリー

長崎市には、潜伏キリシタンの伝統が終わりを迎える中、信徒発見に立ち会った神父と、その後彼らの生活に寄り添い生涯を閉じた神父がいました。彼らの活躍の場となった、信徒発見の舞台・大浦天主堂と、外海地区で見ることができる教会をご紹介します。



# 神父と信徒のお互いが、 2世紀ぶりに出会った「信徒発見」



「信徒に会いたい」  
天主堂の扉は今日も  
開け放たれています

日本の禁教時代。ヨーロッパでは「日本にはまだ、カトリックの信徒がいるのではないか?」という夢が語られていました。

大浦天主堂のプティジャン神父もそんな「夢」を描く、志の高い神父でした。1863年、先輩であるフューレ神父を追って、長崎入り。外国人居留地に「ふらんす寺」こと大浦天主堂を建てるべく奮闘します。そして完成後、プティジャン神父の日課となったのは「天主堂の扉を開けつづける」こと。「夢」を持ち続けていたプティジャン神父は、日本人の信徒の訪問を待っていたのです。

聖母像を見たのは  
生まれて初めてでも  
信じる心は一緒

フューレ神父の帰国後も、プティジャン神父は長崎に滞在。

そして大浦天主堂の完成から1カ月後。堂内で祈りをささげるプティジャン神父に、婦人たちが囁きかけました。「わたしの胸、あなたと同じ」。浦上地区の潜伏キリシタンが信徒であることを告白したのです。そして「サンタ・マリアの御像はどこ?」と尋ねる婦人たち。導かれて見上げた聖母像は、彼女たちが生まれて初めて見る、本物のマリア様でした。

これが宗教史上の奇跡と言われる「信徒発見」。潜伏の2世紀もの間に光が差した瞬間です。



[大浦天主堂]

国宝に指定されている、日本最古の木造ゴシック様式教会。1865年献堂される。

## ご婦人方の行動力が 「信徒発見」へ繋がる!

プティジャン神父に話しかけた3名のご婦人。実は近所の人に「幕府の罠だ。行くな!」と大浦天主堂訪問を止められたという説も有り。女性の行動力で時代は動く!



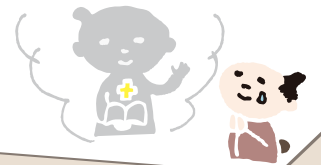
## 2世紀の間、信仰を守り続けた、 「信じる心」の源は何?

潜伏キリシタンが苦しい思いをしてまで信仰を守ったのは、「この神こそ真実、唯一の神」という深い確信と来世への希望が、苦難を耐え、人を大切に生きる生き方を選ばせました。



## 7代先の「信徒発見」を 予言した人物がいる!?

禁教令から30年後。日本人伝道士として伝えられるバスチャンは「7代までをわが子とする。その先は、黒船で神父がやってきて、毎日コンピサン(告白)できるようになる」などと予言したそう。



## お上の目が届かない地でヒミツの潜伏生活を

信徒であることを告白した潜伏キリシタンたちが暮らしていたのは、長崎市浦上周辺。当時はのどかな農村で、幕府直轄地として役人が目を光らせる中心地から外れていました。ちなみに外海は道が険しく、容易にアクセスできない環境だったので、監視の目を逃れられたのでしょう。



## 平成の世になっても、 大浦天主堂に眠る、プティジャン神父

「信徒発見」は、プティジャン神父の「2世紀の間、弾圧に負けなかった信徒に会いたい」という夢がなければ起こらなかった奇跡。プティジャン神父は今も「信徒発見」の場、大浦天主堂の下に眠っています。



# 外海へ赴任したド・ロ神父 陸の孤島に希望の種をまく



[出津教会堂] 1882年に献堂。ド・ロ神父と信徒が共同作業で建てた教会。出津のシンボル。

## 愛にあふれるド・ロさまは 今も人々から慕われる

1873年、明治政府はついに禁教令を解きました。259年ぶりに訪れた自由です。

その6年後、ひとりの神父が出津（長崎市外海地区）に赴任しました。今も出津の人々から「ド・ロさま」と親しまれ、その精神と教えが受け継がれている、マルク・マリー・ド・ロ神父です。

ド・ロ神父は、赴任後、自ら図面を引き、出津教会堂の建造に着手します。高台の上に建つ教会堂は、苦しい暮らしを続けてきた人々の希望の種。建設地には出津のどこからでも眺められる場所が選ばれました。

## 質素な造りに込められた ド・ロ神父の愛と優しさ

出津のシンボルと言える出津教会堂ですが、訪れるとその質素な佇まいに驚くかもしれません。

「出津教会堂の質素な造りこそが、ド・ロさまの愛だと思えますよ」とシスターたちは語ります。当時の出津の信徒はとても貧しい生活でした。だから後々、人々が修繕費で苦労しませんように…。ド・ロ神父はそう願ひ、海風にも負けない頑丈さを優先。

出津教会堂建造のため、惜しみなく私財を投じたド・ロ神父。信徒は全力で労働奉仕をしました。双方が力を合わせた証。それが出津教会堂なのです。

### ド・ロ神父の愛と才能が炸裂して～! DE ROTZ 建築 collection



神父であるとともに優秀な建築家でもある！  
そんなド・ロ神父が中心となり完成させた建築物の数々と、ド・ロ神父の精神と教えを受け継ぐ温かくて誠実な出津のみなさんをご紹介します！

### 2 ポーフ・シ・チャウシー 旧出津救助院と南側玄関のド・ロ壁

### 1 シミダケード・ツヨイノ 地味だけど台風にも負けないの！ 感激のストロング・チャーチ



**出津教会堂**  
段々畑が続く丘に浮かび建つ、白い教会堂。青空に映え、出津の異国のような雰囲気と溶け合い、幻想的にすら感じられます。しかし、この教会堂、実はとても質実剛健なのです。ド・ロ神父が大切にしたのは、まず丈夫であること。角力灘から直撃する台風にも負けない頑丈な造りの教会を目指しました。



「旧出津救助院」の授産場1階の外壁は「ド・ロ壁」。南側の玄関前「ド・ロ壁」は直立していて、角力灘から吹き上げる強風を避けるために作られたそう。ド・ロ神父考案の建物は質素でいながらどこかオシャレ！

幸せの黄色いジャンパーで教会守をやっとります



教会守の山本さん、高橋さん▶

出津でレストラン「ヴォスロール」を運営している日宇スギノさん▶



ド・ロさまの出身地であるフランスのヴォスロール村は、長崎市とは姉妹都市！両都市の交流は今も続いています。

# ド・ロ神父と過ごした時間が、 人を変えた、出津を変えた



## 若い娘たちの眼が輝いた！ 「自立」という初めての未来

「出津の人々を貧しい生活から救いたい」と、ド・ロ神父は次々と事業を成して行きます。出津で仕事を持たない娘たちを集め、パンやそうめんを製造。お茶やマカロニの生産まで手がけました。こちらは長崎中心部の居留地に住む外国人に大人気だったとか。

ちなみにド・ロ神父は、これらの目的を「お金を稼ぐこと」とは考えていませんでした。出津の女性には自立できる力を身につけてほしい。そして今より幸せになってほしい…と願っていたのです。

信徒の幸せのため、情熱的に活動した日々も、時間の遺産なのです。

## ド・ロ神父の教えは 母から子へ受け継がれる

明るく話上手で、建築や医療の知識も豊富。出津のスーパーマンだったド・ロ神父は、いつしか「ド・ロさま」と呼ばれ、出津のお父さんのような存在になりました。

出津の娘たちは、ド・ロ神父の元で学び、自信をつけ、自立の意味を知る女性へと成長します。彼女たちが結婚をし、母になるとまた、ド・ロ神父に学んだ精神や知恵を子どもたちに授けていったそうです。ド・ロ神父の教えは現代につながり、出津の地から多くの聖職者を輩出しています。出津の人々の胸の中には、今もド・ロ神父との時間が続いています。

### [旧出津救助院] [ド・ロ神父記念館]

1階はパン、マカロニ、  
そうめんなどをつくる作業場。  
2階には礼拝室もあります。

もとは罫網工場でしたが、その後、日本初の保育所となり、現在はド・ロ神父の偉業を伝える記念館となっています。

## 3 ドロカベ・・・バイ・ドロ

ドロカベなのに、泥じゃない！  
100年たっても健在な建材



### 大野教会堂

「ド・ロ壁」を見るなら「大野教会堂」へ。材料は泥かと思いきや、そこは知識豊富なド・ロ神父。地元の石と雨で流れない西欧流の目地材で石を積み上げました。今も健在です！



## 4 シラレザル・ラスト・ステーツ

### 旧長崎大司教館（大浦天主堂）

晩年のド・ロ神父が設計し、教会建築で知られる鉄川与助が建てた大司教館。その修理を行った際、ド・ロ神父は足場から落下してしまい、持病が悪化し亡くなってしまいました。非公開だった大司教館は「クリシタン博物館」として2018年4月1日にオープン。江戸時代のクリシタン弾圧と潜伏に関する展示資料等を中心に観ることができます。



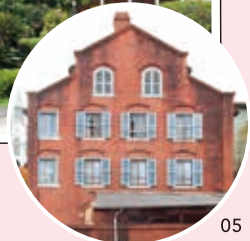
大ニウ  
平ニデーラ



▲赤塚シスター

優しく知的なシスターの「私の眺めた出津」

ド・ロ神父が開拓した畑「大平」を、地元の人が「ウーデーラ」と呼んでいるのは出津の方言なんですよ



クリシタンが伝えたのには!?  
という説もある  
外海地区特産の柑橘  
「ゆうこう」

# NAGASAKI CITY MAP



長崎市

長崎駅

大浦天主堂

路面電車路線		凡例	
系統	色別	港	病院
1	青	JR 駅	美術館・博物館
3	赤	バスターミナル	神社
4	黄	郵便局	寺院
5	緑	トイレ	バス停
②	電停番号	買い物	駐車場

旧木型場  
[三菱長崎造船所史料館]

ジャイアント・  
カンチレバークレーン (非公開)

第三船渠 (非公開)

占勝閣 (非公開)



LET'S GO!

至端島炭坑(軍艦島)、  
高島炭坑(北溪井坑跡)

小菅修船場跡

イタリアほどではないけれど、尖ったブーツのような形状の長崎市。

ブーツの甲の付け根にあたる中心部には、潜伏キリシタン関連遺産のほか「明治日本の産業革命遺産」が点在。

外海エリア（出津）はブーツのスネ部分の位置で、美しい角力灘に面しています。

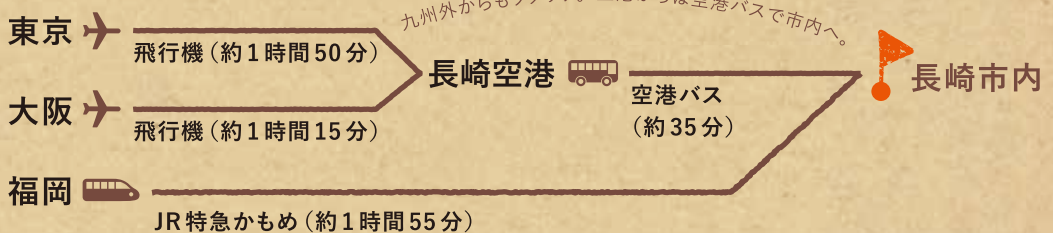


## ACCESS

バスの時刻に関しては、長崎バスホームページ (<http://www.nagasaki-bus.co.jp/bus>) をご覧ください。  
お問い合わせ/長崎バス(総合サービスセンター) ☎095-826-1112、さいかい交通 ☎0959-22-0013

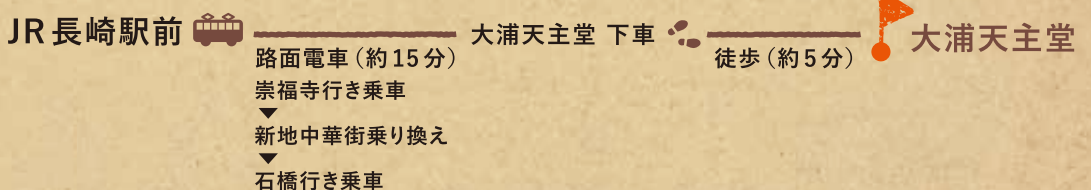
### 各地から 長崎市へ

右記のほか、高速バスでのアクセスも便利。九州内の高速バスは基山SAでの乗り換えが可能な便も多数。



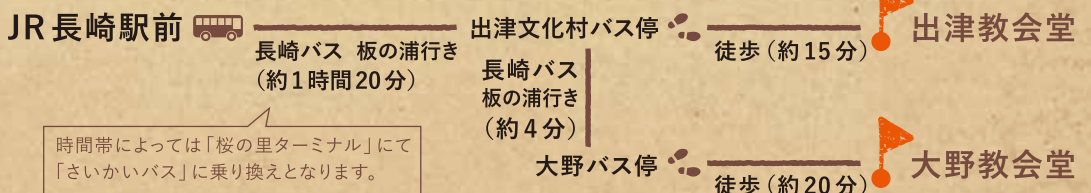
### 大浦天主堂へ

路面電車は旅行者も簡単に乗りこなせる便利な足。観光地はほぼ網羅できます。1日乗車券(500円:観光案内所、ホテルで販売)もあり。



### 外海へ

効率よく周遊したい人にはレンタカーがおすすめ。公共交通機関ならばバスでアクセス可能です。





# 長崎市歴史観光モデルコース

## 長崎タウン

長崎市の歴史をめぐるなら、  
長崎市中心部でグルメや夜景も一緒に。



**大浦天主堂** トップバッターは  
国宝でもある天主堂。旅情あふれる  
景色にさっそく感動。



**グラバー園** 外国人居留地の雰  
囲気そのまま。園内には世界遺産の  
構成資産である「旧グラバー住宅」も。



**長崎新地中華街** 「長崎新地  
中華街」でちゃんぽん&皿うどん  
を。角煮まんて食べ歩きも！



**南山手散策** 「祈りの三角ゾーン」で大浦教会、妙行  
寺、大浦諏訪神社が一度に見える!?



**思案橋で夕ごはん** 長崎タウ  
ンNo.1の繁華街。あらゆるジャン  
ルの飲食店がひしめきます。



**稲佐山で夜景** 香港・モナコ  
と並び「世界新三大夜景」に認定  
された長崎の夜景見物へ。

## こんな世界遺産も!

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



**端島炭坑(軍艦島)**  
軍艦島への上陸ツアーは長崎市中  
心部より発着。必見のスポット!



**旧木型場** 旧木型場は長崎造  
船所内で最も古い建物。現在は史  
料館として公開している(要予約)。

## 外海エリア

外海エリアではゆったりと、  
ド・ロ神父の愛した世界に浸りましょう。



**出津教会堂** 出津のシンボル  
へご挨拶。出津地区駐車場から徒  
歩約10分。



**旧出津救助院** 出津の女性が  
学び、働いた場所を見学。特産品  
や記念品の購入も楽しみ。



**大野教会堂** 海が見える小高  
い丘の上に発見。大野地区駐車場  
から徒歩約5分。



**ド・ロ神父記念館** ド・ロ神  
父がフランスから取り寄せたものな  
どを展示。



**遠藤周作文学館** 潜伏キリシタン  
をテーマにした小説「沈黙」の世界へ。映画  
化の際にマーティン・スコセッシ監督も来館。



**道の駅 夕陽が丘そとめ**  
ランチは道の駅で。角力(すもう)灘を  
のぞむレストランで地元食材パイキング。

## 出津教会堂からすぐ



**トリコロール橋** 出津・大野・神浦の  
川にかかる青・白・赤の橋。フランス・ヴォス  
ロール村との姉妹都市交流にちなんだもの。



**池島炭鉱** 石炭産業の現場を  
体験できる国内唯一の炭鉱施設。  
「池島炭鉱さるく」で検索。

出津教会堂・大野教会堂の見学は事前予約が必要です。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセン  
ターのホームページ (<http://kyoukaigun.jp>) よりお申し込み  
ください。電話でのお問い合わせは ☎095-823-7650 まで。

※ミサ・葬儀などが行われている際は、見学できません。  
※教会へ拝観させていただいた感謝の気持ちを捧げる時は献金箱へ寄付しましょう。  
寄付されたお金は教会堂の維持管理のために使われます。

お問い合わせはこちらまで  
**長崎市コールセンター あじさいコールセンター**  
**TEL 095-822-8888**  
◎受付時間 8:00~20:00 ◎年中無休 発行:長崎市観光推進課

長崎市公式観光サイト **あつとながさき**  
[www.at-nagasaki.jp](http://www.at-nagasaki.jp)

